

研究通信

№ 69

1970・2月刊

村落社会研究会
事務局

東京学芸大学
社会学研究室内

今年度大会についての提案を

次頁以下に御覧のように、さる一月一七日本年度第一回の研究会を開きましたが、その際今年度の共通課題である「村落社会研究の方法」を、大会の席でどのようにとりあげ、大会を運営していくかということについても、御意見をうかがいました。それらの御意見をうかがい、事務局の印象では従来までの大会の形式とは若干ことなったり方をとる必要がありはしないかと感じています。たとえば課題報告については運営委員会から委嘱して公募しないとか、運営委員会において共同討議のすすめ方についてあらかじめ提案を行うとか、いくつかの従来とはことなったりころみが必要ないように感じます。事務局では三月、四月に委員会を開いて大会運営ならびに準備の方法について結論をだしていただく予定にしておりますが、別項の研究会の記事を御覧の上、会員の方々から大会運営の方法について積極的な提案をおよせたいだきたいと思います。従来の大衆の印象でも、今後ころみしてほしいという希望でも結構ですが、それらを委員会の協議に反映させてゆきたいと思ひます。どうか事務局あてにふるって御意見をおよせ下さい。もちろん形式のことだけでなく、課題に関する内容的な提案も歓迎します。